

第8学年 学年だより

個を**活**かし
集団を**生**きる



令和7年12月19日(金)

板橋区立板橋第三中学校

第8学年だより 第31号

「準備を行う」ということ

来週はいよいよ、今学期最後の週となります。学年としては、既に来学期の都内巡りに向けた準備を始めていますが、よく考えてみると、ずいぶん早い段階から動き出していることに気づくでしょう。移動教室の際も同様だったことを覚えているでしょうか。今回は、この「準備を行う」ということの大切さについて、少し考えてほしいと思います。

皆さんは、「3学期は中学3年生の0学期」という言葉を耳にしたことがあるでしょうか。先日、ある生徒が「今は9年生のマイナス1学期ですね!」と冗談めかして話していました。

私たちはまさに、来たるべき最高学年に向けて、あるいはその先の進路に向けて、私たちは常に準備期間の中にいます。では、今この「マイナス1学期」の時期にできる最良の準備とは何でしょうか。

そのヒントになりそうな、「ダニング=クルーガー効果」という心理学の言葉を紹介します。これは、能力が低い段階ほど自分を過大評価し、逆に能力が高くなると自分を過小評価してしまうという現象を指す言葉です。

来年度、進路選択という大きな岐路に立つ皆さんに、ぜひ知っておいてほしいことがあります。それは、自分の能力を客観的かつ適切に評価することは、非常に難しいという事実です。

最近恥ずかしげもなく私自身のこともよく書いていますが、やはりこの点にも苦い経験があります。かつて、「自分は準備しなくてもできる」と過信し、大勢の前での発表で準備を怠ったことがありました。大学などで発表経験があったため、特別な準備は必要ないと考えていたのですが、鋭い質問にたじたじになり、結果として失敗してしまっただけです。できないことほど自信を持ちがちになり、足元が見えなくなる。これは誰にでも起こりうることです。

これから皆さんが向き合う進路決定においても、同じことが言えるかもしれません。自分の実力を適切に見定めることは、自分自身のためであり、ひいては周囲と調和しながら生きていく上でも極めて重要です。これまでの学校生活を振り返ってみてください。日々の学習の積み重ねはどうでしたか？出席状況や、遅刻の回数はどうなっているのでしょうか。過信せず、かといって卑下することもなく、今の自分の状態を「事実」として冷静に見つめ直すこと。それこそが、今年の残りでする最大の「準備」かもしれません。冬休みを本当に充実したものにするために、来週までに改めて今学期の自分自身と向き合ってみましょう。今の自分を知ることが、未来の自分を支える確かな力になるはずです。

来週以降の予定!

	1校時	2校時	3校時	4校時	給食	5校時	6校時	備考	下校予定時刻
22日(月)	道	②	③	④	○	⑤	⑥		15:50
23日(火)	①	②	③	④	○	⑤	⑥		15:50
24日(水)	①	②	④	⑤	○	清掃	/	③カット 保護者会 ⑤学期末清掃 15:10~	14:50
25日(木)	学	式	学	/	×	/	/	終業式	11:45

保護者の皆様へ ~ご協力ありがとうございます~

日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。先日生徒の皆さんにお話ししましたが、12月は特に交通事故の多い時期です。最近、ぎりぎりに登校し、駆け込んでくる生徒が増えています。登下校を含め、時間に余裕をもって、交通安全にも十分気を付けて生活するよう、ご家庭でもお声がけいただければと思います。



